NEWS

特定非営利活動法人 メイあさかセンター

No 32 2004年12月30日発行

メイ(MAY)文庫 つうしん

朝霞市文化祭合唱祭　朝霞市合唱連盟
市民会館で発表会参加　全体合唱

異年齢・異分野
協　働

マレーシア展覧会風景　サバ州ラハダト

埼玉県高校生NGOインターンシップ受け入れ
葵電機工業株式会社の社屋を借りて作業

＊小さな集い・ミニデイサービス(Small Get-togethers with Aged dementia)
＊絵を通じての友好(Friendly　Relationship Through Pictures)
＊国際交流亭(Malaysian language class and exchange)
＊手を貸す運動（教育里親）(Lend a Hand Movement　Foster Parent ForEducation)

発行　特定非営利活動法人メイあさかセンター(MAY ASAKA CENTER)
住所　351-0011 埼玉県朝霞市本町 2－7－17
電話　048-468-6972FAX048-467-7699 E-mail: mayasaka@swany.ne.jp
郵便振込 00130-9-114311 特定非営利活動法人メイあさかセンター＝会費・カンパ
00100-6-361698　メイ文庫（手を貸す運動・教育里親シエラレオネ分）

朝霞から世界へ・世界から朝霞へ　生涯学習でいきいきと

「マレーシアと朝霞市間の国際姉妹都市提携」提言・・・・・・その後

塩味達次郎市長宛に2003年4月28日提言書を提出しました。下記要件を記載し、参考資料を添付してお願いしました。 協働で進める活動の一環として・・・・・

記

1. 15年にわたる「絵を通じての友好」が市内各家庭に理解者が増えました。
   基本プログラム(作品交換・学校での活用)
   10,000人以上が国際友好賞状受領
   第二段階　一般公開展覧会
   第三段階　人物交流(児童・教師)
   第四段階　マレーシア関連事業
   (女性学級へのアジア理解講師として)
   (埼玉国際ジュニアサッカー大会チーム滞在協力)
2. 朝霞市近隣4市合併協議会資料により「必要性」実感。
3. JICAの新方針による、朝霞市住民＝主としてシニア＝対象事業のチャンスの拡大を得られる。
4. 世界的な混沌社会の中に「国の宗教モスリム・信仰の自由」・複合民族国家マレーシアの平和な国情は、長く持続されています。この地理的な地域との姉妹提携は、アジアの一員の私達の国際理解に親近感を感じるでしょう。

以　上

マレーシアと朝霞市間の国際姉妹都市提携に関する経過中間報告

2003年4月28日　メイあさかセンターの活動の一つ「提言」に則り、朝霞市長宛て文書にて依頼。
「マレーシアと朝霞市児童／生徒の絵画交流等15年・国際姉妹提携締結依頼」

2004年5月28日　朝霞市長より文書にて下記の返答を頂く。
「締結の可能性について調査研究費用を 16 年度予算に計上し、検討していく。今後の協力を。」

2004年8月16日まで
朝霞市役所にて担当課と数回の会議と事務的な打合せを繰り返し、朝霞市と特定非営利活動法人メイあさかセンターの協働の協定書に署名・押印して各々の役割にて進行している。

9　月　メイあさかセンターが、マレーシア大使館はじめ、プログラム発祥の地ペナン州にて関係機関を訪問。

10月4～7日　上記に関して、ペナン州の関係機関を朝霞市職員と、メイあさかセンター代表理事が訪問。

(注)12月に入り、現朝霞市長は来年の市長改選に不出馬表明されました。したがってこの件は、次年度に進展することなく内部予算要求時期とも重なることもあり凍結ということになりました。新市長に、これまでの検討経過とともに委ねられるという事になりました。当センター理事会でも、年度末にし切りなおしをということになっています。

調査研究の為に9月事前訪問と10月正式訪問

在ペナン日本総領事館訪問　主席領事　伊藤孝義氏
管内及びペナン州資料・オリエンテーション
ペナン州ペナン島西南地区地方事務所訪問
同所にて管内並びに行政業務説明・軽食接待受け
管内巡察案内同氏他スタッフ同行
村落振興施策　村落振興基金・村落内起業のNGO委員会に対し補助
伝統食品加工生産並びに縫製・民芸品製作
心身障害者授産施設　Asia Community Service
日本NPOとの協動により創立、地域住民リーダーの協力
熱帯果実農園
新ペナン州水源貯水ダム設備見学
島内外周一周路にて北東部視察　ジョージタウン市内巡察
州相事務所　州首相政策秘書・ペナン島市政局・西南地方事務所
地方行政組織と今後のプロモート・連邦政府外務省との関他
小学校見学　地方教育事務所副所長他及び西南地方務長同行
文化村・戦争博物館見学・州内巡察・ペナンブリッジ経半島側
関係協力者との会食(交流のカンターパートとなるべき方々)
工業団地巡察日系企業工場見学 SANYO Electric
クアラルンプール着　連邦直轄行政区プトラジャ見学他案内
(同地事業家　元埼玉県留学奨学金受賞者　Mr. Hiew Kok Khean)

いずれも可能性に向けて真摯に受け止めての歓迎応対に感謝してきました。

特定非営利活動法人メイあさかセンターの活動いろいろ

特定非営利活動の種類

1. 保健・医療又は福祉の増進を図る活動
2. 社会教育の推進を図る活動
3. 国際協力の活動
4. 子どもの健全育成を図る活動

高齢者・障害者の支援に関する事業	＊「小さな集い」月例会 ＊「小さな集い」ミニデイサービス（朝霞市補助事業） ＊研修旅行《日帰り・一泊　隔年》 ＊療育音楽の発表チャンス ＊女性学級開設《朝霞市教育委員会補助事業》
児童の教育環境を良くするためにグローバルな視点からの事業	＊ 絵を通じての友好・マレーシアとの児童画交換と付随する活動《第一から第四段階まで多様な活動》 ＊ 国際交流亭《マレーシア語学習と交流》休会中 ＊ 手を貸す運動《シエラレオネ国へ教育里親運動》 ＊ マレーシアスタディツアー＊インターンシップ受入れ ＊ 埼玉県国際ジュニアサッカー受入れ協力
情報発信事業	＊ 姉妹提携に関する事業・・予備調査・本調査渡航 ＊ マレーシア理解講座シリーズ＊児童画いっぱいの街 ＊ ニュース発行　32号・33号　臨時 ＊ マレーシア教師受入れ記念記録誌発行・頒布
生活改善に関する事業	
介護保険に関する事業	＊「介護保険と支援費制度」学習会

日本国際理解教育学会で発表

6月京都ノートルダム女子大学を会場に開催された学会に「多様な協働によるマレーシア教師受入れ成功」と題して、代表理事が口頭発表。イスラム教の児童生徒との交流に関して生活習慣等への配慮などについて質問あり。

世界アルツファイマー病協会第20回世界会議「小さな集い16年の歩み」ポスター発表

10月、京都国際会館を会場に開催された会議に、世界61カ国から4,000人が集いました。代表理事は、130件のポスター発表者として、自宅開放から公民館での音楽療法や市補助金事業のミニデイサービスへのプロセスを発表。

平成十六年度法人役員

代表理事　尾池　富美子
副代表理事　鷹野　早智子
理　事
秋元　一美　吉田　裕子
山口みち子　親松　実
山田　今子　鈴木　榮子
原　富美子　尾池　敏之
川端　登
監　事
赤石　和則　鈴木　邦明

マレーシアでの連絡先＝MAY Asaka Center
ペナン：C/o JM Research & Consultants S/B
10, Lintang Delima 2, 11700 Gelugor, Penang, Malaysia
Tel: 604-6565370　Fax: 604-6565369
サバ州：C/o A.O.D. S/B
P. O. Box486 Tuaran, 89208 Sabah, Malaysia
Tel: 6013-8579236　Fax: 6088-791893

写真で見る前期のあゆみ

埼玉県国際ジュニアサッカー大会2004

第3回も8月8・9日のホームスティをコーディネイトしました。10世帯にお世話になり、朝霞市長表敬訪問や朝霞少年サッカー連盟・朝霞第三中学校サッカー部との交流も楽しみました。世界8カ国40チーム中22位と奮闘しました。明るく礼儀正しい選手たちは、「小さな集い」の高齢者からの贈った手作り品を喜んでくださいました。《市営グランドで交歓試合のあとで》

ホストファミリー説明会で

埼玉県NGOインターンシップ高校生受入れ

ミニデイサービスの高齢者や家族の方々とも交流され昼食もごいっしょに戴きました。

県内3校から5名・朝霞市社会福祉協議会大学生・企業体験中学生を同時に受入れ、実践していただきました。異年齢が協力して手際の良い作業をして大助かり、代表からの活動の講義も増えました。マレー語訳にボランティアも活躍。

囲碁サロン彩霞7名がローテーション

伊藤会長以下7名がローテーションを組んで囲碁の対局をしてくださいます。楽しい充実した時間を過ごしています。その傍らでは、牛乳パック利用の眼鏡ケース作りを教えていただいています。

女性学級での学習・朝霞市教育委員会補助金事業

積極的なシニア人生を・身近なシニアに学びながら

昨年に引き続き学んでいます。地域には闊達な活動をされ、多様な生き方をなさっている方が多く居られます。第四回は朝霞市在住楡井様からご夫妻での長いボランティア活動歴を伺い、励みになりました。

月例会　小さな集い　ミニデイサービス

第３木曜日療育音楽と仲間づくりの月例会

福祉体験参加音楽大学生もいっしょの例会。学生は、この後も発表会等にボランティア参加しています。

サマーフェスティバル

音楽療法の演奏活動が年間3～4回、発表の場へごいっしょるチャンスにめぐまれています。《中央公民館フェスティバル》

朝霞第六小学校２年生生活科授業へ招かれて

昨年、昔遊びでごいっしょした、富士見クラブの高齢者とともに出かけました。一年ですっかり成長した児童たちが、工夫した手作りゲームで遊び、元気を戴いて、またね！と約束して、心地よい帰宅。

ミニデイサービスヘルパー日誌より

7月○日　　天気　はれ

梅雨も明けるとの天気予報で、本当に暑い日になりました。Aさんも少々ダウン気味でしたね。Sさん・Tさん暑いところをおでかけになりピエロをたくさん作っていました。

リボンは何色にしようとかレースは？と、いろいろお話合いをしながら、一本一本仕上げてくださいました。Oさんは、ご主人さんが目の手術で入院されたとのことで、ご様子を伺った帰途センターに寄られて一服され、折り紙をして帰えられました。

六月例会に赤星先生《リハビリテーションミュージック創者》が、視察に見えられました。各人に直接ご指導されプレゼントのお礼にとハーモニカ演奏をして下さいました

12月○日　　天気はれ

良いお天気になりました。朝晩はちょっと寒いですけれども。Aさんもお元気でお見えになりました。Nさんも、お一人でご自宅から歩いていらっしゃったそうです。新しいバージョンのティッシュボックス用布カバーをきれいに上手に作られて、「娘さんにプレゼントするわ！」とおっしゃってました。Sさんもお見えになりたくさん手芸をしてくださいました。Aさんは、囲碁を充分楽しんでお帰りでした。

秋晴れに誘われて、中央公園や陸上競技場へ散歩
（ヘルパーさん撮影）

絵を通じての友好 Friendly Relationship Through Pictures

MALAYSIA&JAPAN＊＊＊＊＊児童画で＊＊＊＊＊マレーシアと日本

1987年ペナン州と朝霞市との間でスタート。現在では、ペナン州・セランゴール州・クアラルンプール・サバ州・ペラ州へと広がっています。朝霞から埼玉県内小学校・中学校・養護学校へと広がり、県外にも広がりました。しかし、担当教師の定年を機に終了の学校もあり、今年は、埼玉県内のみとなっています。

今年は第33回と34回をベースにした交換とマレーシアで、日本とマレーシアの児童絵画作品の一般公開巡廻展を3州5会場で展開しました。

日本では、朝霞を中心に、小学校・中学校でもマレーシアマレーシアの作品が展示され多くの方々にご覧いただいています。 さらに、朝霞では「国際姉妹都市提携」の提言活動に関連して、 コミュニティセンター3階ロビーにも展示されて、 明るさと元気いっぱいのマレーシアの作品に感心されました。

日本からの作品

届け先き州	33回	34回
ペナン州	265＋238	309
セランゴール州 ゴンバ・クアラクブバル	162	226
クアラルンプール	101	53
サバ州	41	104
ペラ州	101	0
中学作品はペナン州へ	70	0
合　　計	978	692

マレーシアからの作品

朝霞第一小学校　朝霞第二小学校　朝霞第三小学校
朝霞第四小学校　朝霞第五小学校　朝霞第六小学校
朝霞第七小学校　朝霞第八小学校　朝霞第九小学校
朝霞第十小学校　朝霞第一中学校　朝霞第二中学校
朝霞第三中学校　朝霞第四中学校　朝霞第五中学校
埼玉県立和光養護学校　　東松山市立唐子小学校
さいたま市立南浦和小学校　さいたま市立七里中学校

マレーシアへの作品

朝霞第一小学校　朝霞第二小学校　朝霞第三小学校
朝霞第四小学校　朝霞第五小学校　朝霞第六小学校
朝霞第七小学校　朝霞第八小学校　朝霞第九小学校
朝霞第十小学校　朝霞第四中学校
東松山市立唐子小学校　さいたま市立南浦和小学校
さいたま市立七里中学校　横山書道塾《隔年》
ペナン日本人学校　コタキナバル日本人学校

マレーシアでの展開　その(一)

ペナン州　5月5日と10月8日が交換会

各回とも20校から作品持参の校長先生が出席し、ペナン州教育局長と尾池のスピーチから始まり、報道関係者も多く参加しての賑やかな中にも、長年続けていく責任感がみなぎって、州全体の学校に作品が行き渡る日を楽しみにされていることが伝わってきます。手渡された作品は、翌日には各学校に展示されます。私達が訪ずね易く丁寧な地図が添えられています。

第10回展覧会

6月15日～27日まで　州公会堂と州立図書館2会場で
今年も、3月には実行委員会を立ち上げて取組みました。4,000点を上回る参加から、日本と合わせて400点を展示。2会場で7,000人の入場者を得ました。中学校2校が、教師と生徒《各30名》で尾池と共に会場に待機して、充分当番を果たされました。

6月14日～日本からのスタディツアーの7名が合流その後　クアラルンプール・サバ州へ

サバ州　10月22日～29日展覧会

広い面積と地形・地理的な条件が他の州と異なるので、2001年スター時から、州立図書館ブランチを拠点に州内を巡廻形式で進めてきました。今年は、3月に実行委員会を立ち上げて、意欲的に取組んだラハダトブランチ図書館とその管内の、連邦土地開発公社のパームオイルプランテーション内のサハバト小学校の2会場で実施。図書館では幼稚園児に折り紙教室・高齢者センターからの来場者には、手芸の講習会を実施・図書館友の会高校生のイベントなどを持ち団体観賞の小学生を上回る幅広い入場者を得るなど、館側の工夫が随所にありました。実行委員会に教育事務所や地域の団体も入り「児童画を介して協働」が成立して、職員も新しい展覧会の方法を知る機会となりました。小学校会場では、先生方が放課後準備に努力されました。早朝から学校バスで来場してゆっくり・熱心に観賞。「教育事務所が、今回で美術教育にいっそう目を向けてくれた。」と、委員会の先生のコメントをうれしく思いました。

ペラ州　巡廻方式でグリック町で実施。7月3日～8日。

マレーシア理解講座　シリーズ1

民族文化を知る

国際姉妹都市提携について提言お願いした当センターは、より広く市民にも、マレーシアへ関心と理解を持っていただくためにと、16年度からマレーシア理解講座を多様な方法で進めることを計画しました。当日は、30代から80代まで協力しての設営と受付で、手際よく進められました。

幸い、マレーシア政府機関のご協力も戴けて「民族文化を知る」という行事を開催することが出来ました。初めての試みとして参加券を事前に頒布することを会員はじめ、これまでのご協力者にお願いしての準備でした。11月13日《土曜日》午後3時と6時と同じ内容で実施しました。同時に展覧会と活動の写真2004展も実施。 当日、チラシや新聞をご覧になっての来場者も2割強はいらしたのが成果の一つであると思います。200名近くをという当初目的にやや近くご来場頂きました。

共催団体

社団法人日本マレーシア協会

日本とマレーシアの親善友好及び経済協力並びに文化交流の緊密化に寄与する目的で、次の事業を積極的に進めてきています。

①広報啓発　②親善交流③調査研究　④留学生援護　⑤熱帯雨林再生　⑥学校交流

共　演　者

ドロティー　シクアトさん

メイあさかセンターのカウンターパートの一つ、マレーシアサバ州立図書館の職員。埼玉県海外技術研修員制度でNGO枠の研修生として、5月末から11月18日まで研修。多数の民族の宝庫ボルネオ島での大きな民族カダザンのダンス教師でもあり、共演しました。日本語でサバ紹介も。

「ムカール・ブダヤ」 マレーシア民族舞踊団

マレーシア政府観光局が設立した本邦初のマレーシア民族舞踊団。年間30回以上公演。ダンスと民族文化を紹介してくださいました。バンブーダンスや多彩な舞踊は好評でした。抽選会も楽しく！

マレーシア政府観光局

一般の観光のみでなしにマレーシアへの修学旅行も普及。この日は、ビデオとスライドでマレーシア紹介。当センターが関係している州をメインにして紹介してくださいました。

この成果を大切に次につなぐために、展示した作品などを市内各公民館等で巡廻展をして、広く多くの方々に見ていただくことにしています。コミュニティセンターでと同様に新会員が増えることも期待したいと思います。

朝霞でいきいきネットワーク《介護予防》　　11月30日《火曜日》

朝霞市介護予防いきいき推進大会

11月30日、ほぼ一年かけて準備された推進大会が実施の運びになりました。

ネットワークでの、代表副代表の負担を軽くしながらみんなが役割を担うということで、当センターもポスターやチラシ作り・第2分科会の助言者打合せ・司会進行を、さらに全体会場の司会。全体会場での「ふるさと」合唱のピアノ伴奏者を提供することを引き受けました。展示部門でも長年展覧会をし馴れていることもあり準備協力もしました。ピアノ伴奏もお上手で会場を一つにする充分な役割をされました。

小さな集いの活動に一層の励みになります。

介護状態になることを予防する、または、介護度が出ている方の介護度を少しでも軽くすることを「介護予防」といい、一人暮らし・高齢者のみ世帯の増加に伴い、地域の介護予防の充実に期待します。

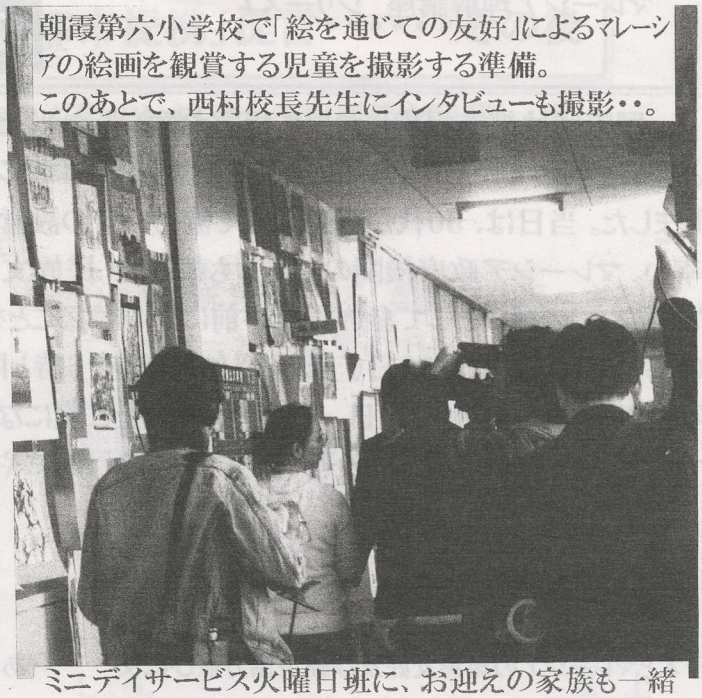
朝霞市長ごあいさつより

1月16日《日曜日》 午前10時30分

テレビ埼玉視聴を

12月21日《火曜日》、埼玉県公聴広報番組「きらり・埼玉県」に、メイあさかセンターが取材されたことが放映されます。NPO 立県をと上田知事が提唱されて新しい支援制度を始めました。埼玉県の NPO 支援の広報番組に、長年 NPO として活動してきた当 NPO が埼玉県 NPO 推進課の勧めで5分間に編集され放映されます。

国際協力・交流と福祉活動を両輪にしている活動紹介で朝霞第六小学校にもご協力戴き撮影させていただきました。ミニデイサービスも多くの参加者を得て撮影が進められました。放映が楽しみですが・**いっそうの経営努力をと思います。**



朝霞第六小学校で「絵を通じての友好」によるマレーシアの絵画を観賞する児童を撮影する準備。
このあとで、西村校長先生にインタビューも撮影・・。

ミニデイサービス火曜日班に、お迎えの家族も一緒にカメラに収まって・・・四世代がいっしょで、いつもよりもっと笑顔がいっぱいで。

毎日新聞(関東版)12 月 25 日(土曜日)14 面に NPO のはじめ方シリーズに掲載されました。

朝霞市地域福祉計画策定委員会委員として参画市民委員会ヒヤリングも受け、反映しています。

この毛糸のクッションは、28日ケアライフ朝霞の利用者《90歳以上》の方々へプレゼント予定。

これから

小さな集い・・・月例会・・・・・・毎月第3木曜日
ミニデイサービス・・・・・・毎週火水木曜日
絵を通じての友好・・・・・・・・・・・・2月末第35回作品お願い・
マレーシア理解巡廻展覧会・・・・・・・市内各所

あとがき

今年も、慌しく多くの事業を実施しながら暮れようとしています。

メイあさかセンターは、多くの方々に支えられて毎年多様な分野で足跡を残してきました。その支援者も含めて年間センターにお越しになられる方が急増しています。ミニデイサービスも昨年同期の2 割増、老若男女、小・中・高・大学生の人数も2割増しです。5月の新年度から、すでに延べ2,200人を超える方々が、お越しになられて、一昨年の同期に較べるとなんと5割も増えています。地域に定着してきたことを感じながらも、スタッフ不足に拍車がかかるほどの多忙な日々です。一日も早く専従スタッフをと資金面での準備努力を理事一同で始めたところです。良い情報がありましたらご一報ください。また、添付の用紙でのご協力もお待ちいたしております。 年末も目いっぱい、新年も早々にセンターの雨戸は開いています。狭いところですが、荷物も夢もいっぱいのセンターへ是非お立ち寄りください。年度末まで3,500人がという感じですが、嬉しい限りです。 ・・・スタッフ一同・・